

◆肺炎について

肺炎とは、病原体が肺に入り炎症が起きる病気のことで、日本人の死亡原因の第3位です。肺胞がおかされる肺胞性肺炎と肺胞の隔壁を中心とした肺の間質がおかされる間質性肺炎とがあります。通常は空気から病原体が気道に入って、

気管支を通って肺に至り発症します。発熱、悪寒、せき、たん、呼吸困難などの症状が現れます。

感染性肺炎は原因となる病原体の種類によって「細菌性肺炎」と「非細菌性肺炎」とに大別できます。細菌性肺炎の原因となる細菌には、肺炎球菌、黄色ブドウ球菌、大腸菌、緑膿菌などがあり、特に重症となりやすい肺炎を起こすのが肺炎球菌です。非細菌性肺炎の原因となる細菌には、細菌以外のウイルスやマイコプラズマなどがあります。

なお、結核菌も細菌の一種ですが、結核菌による肺の感染症は肺結核と呼ば

れ、通常の細菌とは病態や治療法が異なるため、細菌性肺炎とは区別されています。

医療機関では医師による聴診、胸部X線検査、血液検査、喀痰細菌検査などが行われ、診断が確定します。早期に治療すれば大半はすぐに治りますが、高齢者や乳児ではまれに大事に至ることもありますので、早めに医師による診断をしてもらうことが大切です。

泉崎南東北診療所では65歳以上の方を対象に「成人用肺炎球菌ワクチン」の定期接種を実施しています。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぐワクチンです。定期接種としての公費助成を受けるためには対象となる年齢がありますが、令和3年4月1日から対象年齢が変わりますので、詳しくは受付までお問い合わせください。

【地域の皆さまへ（お願い）】

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、次のような取り組みを行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

【診療所】

○診察を受ける方および付き添いの方全員のマスク着用、手の消毒、検温をお願いしております。

○診療所内の消毒と換気を毎日実施しております。

【老健施設】

○原則として、入所者への面会・外泊を禁止しております。

○通所リハビリ利用者には毎日の体調確認と検温を実施しております。

○施設内および送迎車両の消毒と換気を毎日実施しております。

※泉崎公開講座は当面の間、開催を見合わせます。

診療所外来 1 月担当医

☎泉崎南東北診療所 ☎0248-53-2415

【お願い】発熱症状、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）、味やにおいを感じない（味覚・嗅覚障害）などの症状がある方は、医療機関を受診する前にかかりつけ医または県の受診・相談センター（電話 0120-567-747）へ連絡してください。

※12月31日（木）から1月3日（日）までは休診します。

	月	火	水	木	金	土	日／祝祭日
午前 受付時間 8：30 ～ 11：30	小林利男 整形外科・内科	小林利男 整形外科・内科	内藤 梓 消化器内科・外科	小林利男 整形外科・内科	内藤 梓 消化器内科・外科	総合南東北病院 心臓血管外科	休 <

※都合により診療時間や医師の変更がある場合がありますので、詳しい診療案内等は当診療所へお電話にてお問い合わせください。

※日曜・祝祭日・年末年始の休日の当番医は☎0248-23-9909（しらかわ情報センター）で確認いただけます。